

令和6年度 災害復旧実務研修会

令和6年5月8日（水）、新潟県建設会館において「令和6年度 災害復旧実務研修会」を開催し、65社、142名の方々が参加されました。

山岸会長から「本年1月1日に発生した能登半島地震では、新潟市西区をはじめとする液状化被害に対して新潟市や新潟地域振興局から災害応援協定による出動要請があり会員の皆様から対応していただきありがとうございました。さらには、未曾有の被害に見舞われた石川県測協からの災害復旧業務の協力要請に対しましても県内各地域の会員から対応していただいているところであり、重ねて感謝申し上げます。

当協会では、この研修会を通じて災害復旧マニュアルや積算標準歩掛の周知徹底を図るなど災害発生時に迅速・的確な対応ができるよう取り組んできたところであり、今後とも、地域住民の安全・安心な暮らしを守るため一層尽力くださるようお願いいたします。」との挨拶があり、次の内容で研修を行いました。

【研修内容】

■ 講 話

演題：基準点測量成果作成における注意点 ～測量は誤差との戦い～

講師：（一社）全測連 公共測量支援センター

センター長 川本 利一 様

■ 災害復旧マニュアル・積算標準歩掛の改定について

説明者：新潟県測協 技術委員会 副委員長 須藤光雄



※ 研修資料は、「会員専用サイト」に掲載